



村の税金等を納めるときは…口座振替がおすすりめです!

「忙しくて納付場所に行けない…」、「納付を忘れてしまい督促状が届いてしまった!」などという経験はありませんか。口座振替の登録をすると、毎年の納税は指定口座から引き落とすこととなり、自分で納付に行く手間も省け、納め忘れの心配もありません。この機会にぜひ、口座振替をご検討ください。

【問い合わせ】税務課収納管理室(☎282-1711 内線1116)

役場での申し込み

場所▼税務課、保険課(役場行政棟1階)
利用可能な金融機関▼常陽銀行 ▼筑波銀行 ▼水戸信用金庫 ▼茨城県信用組合 ▼中央労働金庫 ▼ゆうちょ銀行
持ち物▼金融機関のキャッシュカード(暗証番号の入力あり) ▼本人確認ができるもの(運転免許証、健康保険証など)

金融機関での申し込み

場所▼下記の村内の金融機関の窓口 ※申込書は金融機関に備え付けてあります。
利用可能な金融機関▼常陽銀行 ▼筑波銀行 ▼水戸信用金庫 ▼茨城県信用組合 ▼中央労働金庫 ▼常陸農業協同組合 ▼ゆうちょ銀行(簡易郵便局を除く)
持ち物▼通帳 ▼金融機関の届け出印 ▼納税通知書

※▽固定資産税・都市計画税、軽自動車税、村・県民税、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料が対象です。▽役場窓口は各納期限の2週間前まで、金融機関は各納期限の1か月前までに申し込みください。▽残高不足等により、口座振替ができない場合は、別途納付書を送付します。▽納期限を過ぎた税については、口座振替できません。▽役場窓口で申し込む場合、家族カードは使用できません。

ふるさと歴史訪 ー自然を探してー

自然から学ぶこと

私は今、「東海村理科活動専門員」という、ちよつと珍しい職名で仕事をしています。歴史と未来の交流館で子ども向けの理科講座を担当しているほか、「ジョイント授業」という名称で、主に小学校に向向いて現場の先生方と一緒に授業を行っています。教科は生活科や総合的な学習の時間が中心です。

この活動は歴史と未来の交流館の開館時から実践しており、これまでの取り組みを経て現在、軌道に乗ってきたと感じています。特に、東海村の自然環境に関する学習では、実際に子どもたちと各小学校周辺でフィールドワークをしています。その中で、今年度印象に残ったのは、次のようなことでした。

照沼地区では、白縁眼鏡をかけたような目をして鋭くさえずるガビチョウや、変わった形の巣を作るコシアカツバメ、さらには昼間に、なんとホンドリギツネのような動物が走り去るのを見掛けました。

村松地区では、アサギマダラと見間違ふほど美しいアカボシゴマダラが悠々と飛ぶ姿を見て、複雑な気持ちになりました。このチョウの食草は



【石神小5年生と石神城址公園にて(令和4年10月14日撮影)】

中丸地区では、何とんでもハンノキ、この木が青空をバックに群生している景色を見るとそこが北海道になる。コロナ禍にすがすがしい気分になりました。

これら東海村の生き物に関する知識は、「東海村の自然」、「東海村の自然誌」、「東海村の自然誌II」に凝縮されています。私はこれを使って授業をしています。そして、子どもたちには自然を学ぶことプラス、自然から学ぶことの大切さも伝えています。

東海村理科活動専門員

安 敦之

エノキ…、あれ? エノキつてオオムラサキも食べるよな」と。

石神地区では、ベニシジミとエゾノギシギシを見て、「えっ! スイバではなくこれを食べてるんだ」と、ちよつと気になりました。

白方地区では、ウスバキトンボ(別名: 精霊蜻蛉)という、はかない生態をもつたトンボに出会い、いとおしさと命の尊さを思いました。

舟石川地区では、サルビアの花を黄色くしたようなキバナアキギリという割と珍しい植物を発見し、これ、日本海側では紫色なんだよななんていうことを思い出しました。